

市報

とよかまち

平成4年

主な内容

- ▶ 地区社会福祉会……………P2～5
- ▶ 話題アヲカルト……………P6～9
- ▶ お知らせ……………P10・11
- ▶ ふる里の歴史散歩・人……………P12

8.10

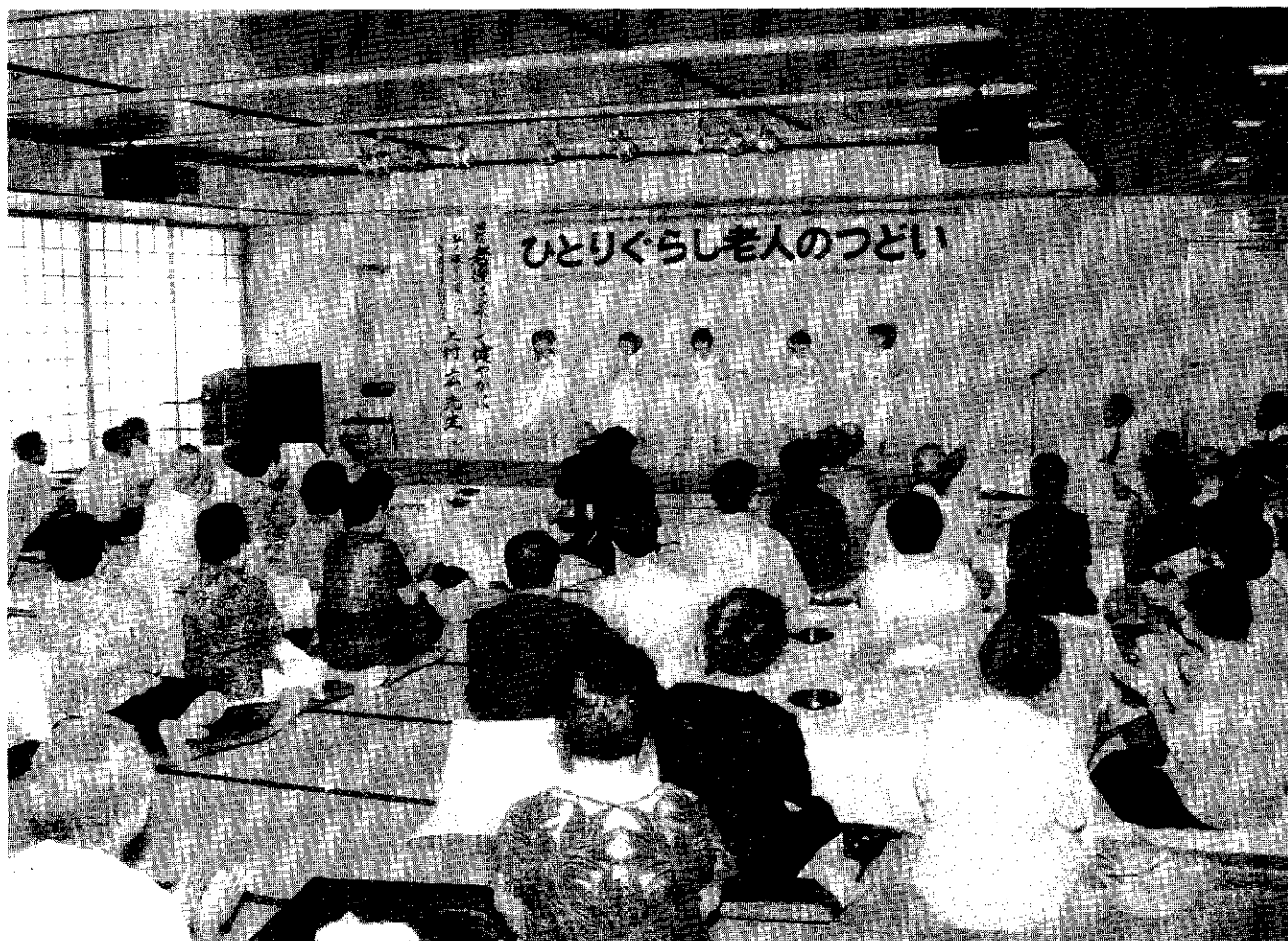
No.430

発行／十日町市役所
〒948 新潟県十日町市
千蔵町3丁目3番地
TEL (0257) 57-3111
編集／総務課文書広報係

弁天池の蓮まつり

～二千年のロマンに魅せられて～





地区公民館を拠点に福祉ネットワークづくり

下条・水沢に地区社会福祉会を 設立します

～ 創意と工夫で思いやりと支え合いのまちに ～

十日町市社会福祉協議会は、地域に根ざした福祉活動を進めるため、福祉施設が整備され地域活動の盛んな下条・水沢をモデル地区に「地区社会福祉会」設立の準備を進めています。この組織は、地区公民館を拠点に公民館活動と連携しながら、地域の人達が抱える福祉への様々な要望を把握し、地域の実情に合ったきめ細かな福祉サービスを提供するための身近な窓口となります。今月は、両地区で設立の準備を進めている地区社会福祉会を特集しました。

地域福祉とは

これまでの福祉というと恵まれない人のためとか、障害を持った人のためにとか考えられてきました。そして、ともすればこれらの人達を地域社会から遠ざける傾向がありました。

しかし、恵まれない人も、障害を持った人も、お年寄りも、すべての人達が交流し助け合いながら生活を共にするのが、本来の福祉社会といえます。

そこで、大切になるのが地域福祉です。地域福祉が目指しているものは、その地域に住んでいるすべての人達が、人間らしく生活できる条件をそれぞれの地域にふさわしい創意工夫によ

って創り出し、弱い立場の人達も、ひとりの地域住民として認められることです。そして、困ったときには互いに助け合い、交流しながら共に安心して暮らしていける地域社会を創ることです。

国が目指す ふれあいまちづくり

国は高齢化社会を国民が生きがいを持ち、安心して生涯を過ごせ、明るく活力のある長寿・福祉社会に築きあげるため、平成二年に「高齢者保健福祉推進十カ年戦略（ゴールドプラン）」を策定し、施策を進めています。

お年寄りや障害を持った人に対する在宅福祉サービス、施設福祉サービスなど住民に最も身近な市町村できめ細かく、計画

的にサービスが提供できる体制をつくることをねらいとしています。そして、それぞれの生活圏を重視し、地域の特性に見合ったきめ細かな地域福祉施策を提供する「ボランティア事業」、昨年度からは、これをより積極的に推進する「ふれあいまちづくり事業」が創設され、今年度

十日町市も指定されました。これらは、それぞれの地域で住民のニーズ（要求）に応じた相談、情報提供や地域をあげてのネットワークづくりなどを支援する内容となっています。

豊かな福祉のまち を目指す

市では長期発展計画に基づき、社会福祉協議会が中心となり、

高齢化社会に対応して市民が地域福祉活動に積極的に参加することを願った「十日町市地域福祉計画」を平成二年に創り出した。「豊かな福祉のまち」の実現を目指し、五本のテーマを設けています。このテーマの一つに「コミュニティ活動の基盤整備」があります。

お年寄りや障害を持った人が、住み慣れた家庭や地域で日常生活を営むために、人と人との間に結び合い、思いやりと助け合いの気持ちを大切にし、積極的に参加するコミュニティ活動の基盤を築き上げることが重要だとしています。このため、その拠点づくりと学習の機会を提供し、また、ボランティアや福祉施設、関係する機関、団体、

個人が横の連絡を取りながら、自ら参加する地域福祉サービスのネットワークを作り、共に生きる福祉社会を築いていかなければなりません。

この基本計画をもとに、市では県内で新潟市、新発田市に続き、いち早く国の事業を取り入れ、それぞれの地域に合った地域福祉実現のための事業を進めています。

この事業の主体となっているのが十日町市社会福祉協議会です。社会福祉協議会は、地域福祉活動を推進する中核的な担い手としての役目を持ちました。そして、地域に根ざした福祉活動を推進するため、身近な窓口となる、地区社会福祉会の設立の準備を今進めています。



上 村 順 平 さん（太田島2・75歳）
（十日町市社会福祉協議会長）

心のかよった福祉社会に

社会福祉をとりまく環境は今大きな課題を抱えています。住民と行政が一体となった地域ぐるみの活動が真に要求され、その対策として小地域における福祉活動の推進が不可欠となっています。今年度は水沢と下条の二カ所をモデル地区に指定。住民の福祉のニーズに応えるため地区社会福祉会を設立します。また、将来は市全域に設立し、心のかよった福祉事業の充実を図りたいと考えています。市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

グレードの高いネットワークを

弱い立場に定義はなく、可能性はだれしももっています。共に生きていくためには、地域の情報をきめ細かにキャッチすることが必要。福祉は守秘義務やプライバシーの問題がありますが、その壁を破っていくのが地区社会福祉会ではないでしょうか。まきや親類とのしがらみはありますが、これとどういった連携がとれるのか、いざという時に真に助け合えるグレードの高いネットワークが必要です。

地域の問題がどこにあるのか気長に掘り下げる組織と担当者は、地域のソーシャルワーカーになってもらいたいと願っています。

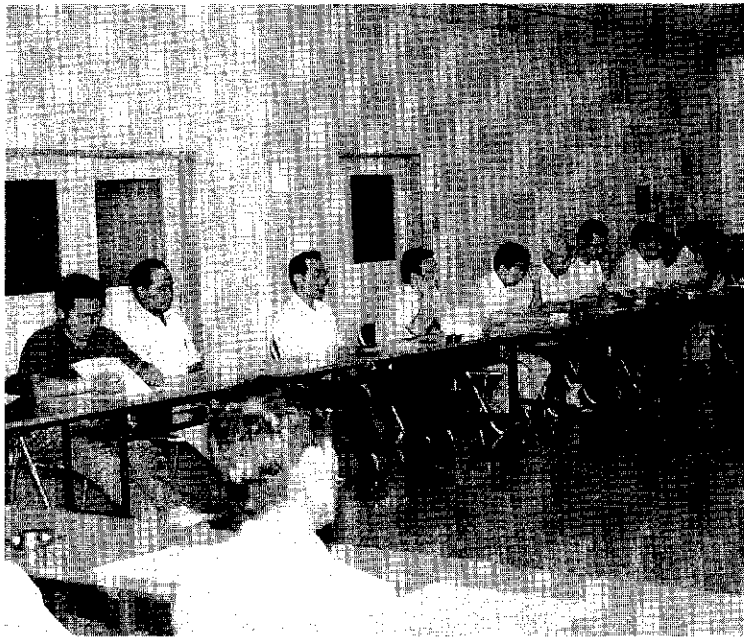
山 口 和 子 さん（下条中央通り・63歳）
（下条地区社会福祉会設立準備委員）



地区社会福祉会とは

地区社会福祉会は、地区公民館を拠点にします。そして、公民館活動と連携しながら、地域の人達が抱える福祉に対する様々な要望を把握し、地域の実情に合ったきめ細かな福祉サービスを開発・提供しようとする組織です。

具体的な役割は、公民館を核とする小地域ネットワーク作り



地区社会福祉会の設立に向け、各層の皆さんが熱心に話し合われました。(水沢地区)

とボランティアの養成です。地域福祉・在宅福祉を進めるうえで、その舞台となる区域を旧町村単位の小地域とします。その地域において民生児童委員を中心に、医療や教育機関、福祉施設、ボランティアグループなどが集まり、弱い立場の人達を日常的に支える総合的な福祉サービスを提供する組織を目指します。

下条・水沢を モデル地区に

このように、地域の実情に

じた福祉サービス事業を進めるために当面、三好園や妻有荘・平成園など社会福祉施設が整備され、また、教育・スポーツボランティアなどの分野で着実な地域活動を進めている下条・水沢地区をモデル地区としました。そして、今両地区では地区振興会、老人クラブ、婦人会、青年会、青少年育成団体、民生児童委員、学校・福祉施設などの活動と連携して、相乗効果のあがる活動を目指し組織づくりを進めており、八月中旬ごろに地区社会福祉会を設立する予定にしています。

地区公民館を 拠点にする理由は

地区社会福祉会の活動の拠点を当面地区公民館に置くことにしたのは、次のような理由からです。

社会教育を行う公民館と社会福祉の一翼を担う地区社会福祉会とは、もちろん全く別の組織ですが、公民館活動の中にはボランティアの育成など社会福祉的なかわりをもった面が多くあります。そして、社会福祉協議会の仕事にも青少年の健全育

『ほのほの福祉写真展』 作品募集

ほのほのとしたお年寄り中心の触れ合い写真、お孫さんとのほほえましいスナップ写真、3世代の睦み合い写真など、多数の応募をお待ちしています。

- 応募資格 どなたでも応募できます。
- 応募方法 ①写真は未発表のもので、一人3点以内とします。②サイズは、カラー版とし2Lサイズ(11.9×16.9cm)とします。(組写真・スライドは除く) ③作品の裏面に、住所・氏名・年齢・電話番号・作品の簡単な説明を記入した応募票をはってください。
- 作品の展示 応募作品は9月25・26日の健康づくりフェア(クロス10)で展示します。社会福祉事業等に活用するため作品は返却いたしません。
- 申し込み 9月10日(木)までに社会福祉事務所高齢福祉係(〒948-1010 町市千歳町3-3 ☎内線136)へ。

地区社会福祉会 が行う事業は

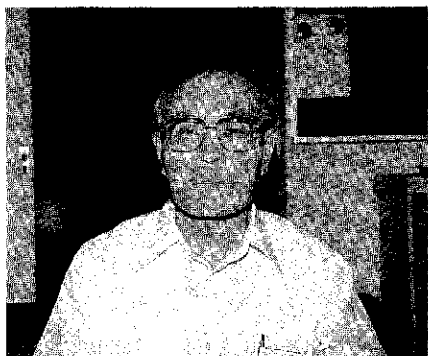
成など社会教育的な活動がたくさんあります。これらの活動をお互いが連携して相乗効果を生み出すため、地域の皆さんが最も集まりやすく、心のよりどころとしている地区公民館を活動の拠点としました。

福祉のまちとして有名な山梨県小淵沢町でも、地域の人達がよりどころとしている公民館を拠点にし、情報交換をしながらボランティア養成とネットワーク作り已成功しています。

地区社会福祉会の事務局となる公民館の体制は、下条・水沢両地区の公民館職員が社会福祉協議会の職員を兼ね、新たに社会福祉協議会の臨時職員一名を配置し、活動を進める体制を整えました。

地区社会福祉会が行う事業は、次のようなものと考えています。

- ①地域福祉活動に対する理解と協力を求めるため、パンフレットやチラシなどによる広報活動。
- ②家庭や保育所・学校・社会教育機関・地域などが一体となつて、将来を担う児童や青少年を心身ともに健全に育成するための事業。具体的には、少年野球・子供会・青少年赤十字団(JRC)の育成などが考えられます。
- ③老人・障害者・児童・青少年



上村 宇一さん (新宮1・65歳)
(水沢地区公民館長)

公民館は情報・相談の窓口

とかく行政の縦割の福祉が問題だと言われる中、地域主体・住民参加による福祉活動を推進するネットワークづくりは大変重要であると考えています。直接住民や各種団体の人達から、福祉に対する生の声や情報を的確に把握する、その窓口となるのが地区公民館だと思っています。地域に根ざしたきめ細かな福祉サービスの向上とボランティアの育成などを図りながら、地区社会福祉会の充実・発展に努めたいと考えています。

福祉は人づくり 教育の充実を

看護婦の立場から「高齢者を支える地域づくりを目指して」と題し、福祉・保健・医療サービスのシステム化や介護者の相談窓口の設置、カード登録などを提言しました。社会福祉会は市民ぐるみで高齢者を支える取り組みをする、いい機会だと思っています。でも、組織作りは大事ですが、人の意識を変えなければ機能しません。小さい頃から思いやりの心を育てる教育が大切。人づくりだと思っています。医療機関だけでは限界があり、行政から大いに旗をふってもらいたいと思っています。

藤木 登美子さん (北原・38歳)
(「福祉への提言」優秀賞・看護婦)



福祉事務所と社会福祉協議会

福祉事務所と社会福祉協議会の仕事の違いがよくわからないという声を耳にします。社会福祉事務所と社会福祉協議会は一体となって福祉施策を進めていますが、次のところで基本的な立場の違いがあります。

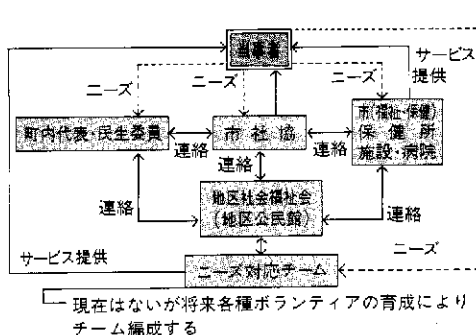
〈福祉事務所〉 市役所の行政組織の1つで、法律で福祉事務所を置くことが決められています。主な仕事は、生活保護や老人、児童、身体障害者や精神薄弱者、母子・父子家庭などの福祉に関する法律に基づいて全国一律に同じ基準で、同じサービスを公平に行う仕事です。

具体的には、保育所など児童福祉施設と特養ホームなど老人福祉施設への入所者と料金の決定、身体障害者や精神薄弱者などに対する援護と指導、戦傷病者援護などです。もちろん、市の独自施策としてこれからの福祉のあり方をどう進めてゆくかを決めるのも大事な仕事です。

〈社会福祉協議会〉 社会福祉協議会は、公的機関の協力を得て法人が運営する、自主的な福祉活動を進める中核となる民間団体です。その組織は、市町村、郡、県単位で構成され、全国組織につながっています。社会福祉を目的とする事業の調査、総合的企画、普及、宣伝などとともに、このほどの法律改正により、在宅福祉サービスを実施する主体として、ボランティア活動等住民の参加する地域福祉活動を実施することが加えられました。

いずれにしても、福祉事務所の行う公の仕事と福祉協議会の民間の行う仕事が車の両輪となって地域福祉を推進することが求められています。

④ ボランティアの育成・活動基盤強化事業。具体的には、ボランティアスクール(福祉活動学習会)・ワークキャンプ・老人宅の雪下ろしや雪囲い・老人の介護等が考えられます。当面、下条と水沢地区では、地域の人達から幅広く参加してもらい、福祉全般について話し合い、情報交換することにより、住民の地域福祉活動に対する理解と協力を求めます。また、アンケートなどにより、その地域が抱える様々なニーズを掘り起こしたり、どんなお年寄りがどういった介護を必要としているのかを把握します。また、各種福祉講習会や学習会を開き、ボランティアの育成を行っていき



ます。そして将来的には、地域の人達同志の助け合い(ボランティア)が基盤となった在宅介護援助チームを組織し、いろんな福祉ニーズに即応できる体制を作り、思いやりと支え合いのあるまち(地域)をつくることを目標にしています。

今後の方向は

地区社会福祉会は、今後、下条・水沢の両地区の状況と成果を見ながら十日町市地域福祉計画に基づき、モデル地区を広めながら、将来は地域の実態に合うように、市全域に設置する予定にしています。五万市民すべてが、福祉の問題を身近な問題として感じられ、様々な活動を通してボランティアに対する理解を深めることが、これから高齢化が進む地域社会のなかで、ますます必要になってきます。福祉の問題は他人事ではなく、自分の問題として理解してもらえよう、地域に根ざした福祉活動を進めることと

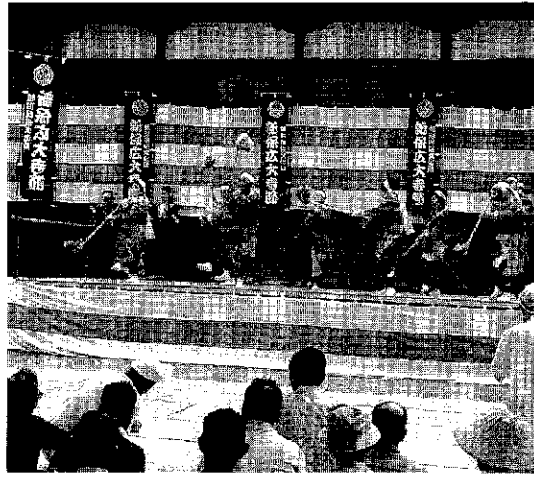
尾崎の弁財社の池周辺が きれいに整備 ～氏子の手により700万円の浄財で完成～

尾崎地内の国道一一七号から西側に見える、弁財社の池周辺の環境整備工事が完了し、地元氏子の皆さんで喜びの竣工を祝う会が、七月二十六日(日)境内で行われました。この工事は、昨年と今年の二年にわたり、氏子の手により約七〇〇万円の浄財を負担し、池ざらい、漏水防止、境内の土留め積石工事などを行ったものです。

池周辺は年々雑草やかやなどで荒れ、また、泥によって汚れていた池を昔のきれいな姿に戻したいと、氏子の皆さんの熱意により完成しました。今では、満々と水をたたえた弁財社の池に、真夏の太陽が照り返し尾崎の名所が復活しました。



きれいに整備された尾崎の弁財社



民謡の里を目指して踊る保存会の皆さん

日本民謡のルーツの地で 青森・秋田と民謡交流会 ～新保広大寺節保存会20周年記念事業～

新保広大寺節保存会(山田桂会長)二十周年記念を祝う「青森・秋田との民謡交流会」が、七月二十六日(日)午後一時からクロス10で盛大に行われました。

これに先立ち、午前十時から約一時間半にわたって新保広大寺の境内で、地域の人や愛好者約二百人が見物する中、広大寺節と広大寺くずしが奉納されました。奉納会は、青森・秋田からの一流ゲストによる民謡が披露され、普段静かな境内もこの時ばかりは、民謡がこだましていました。

新保広大寺節は、警女によって全国的に歌い広められ、八木節や津軽じょんがらなどの民謡のルーツといわれています。

話題アウカルト

クラブ活動

金管バンド部



水落留美子 さん
(6年)

わたしたちの下条小学校では、昨年の秋に金管楽器が入り、金管バンド部ができました。

ホルネット、トランペット、アルトホルン、トロンボーン、ユーホニウム、バリトン、チューバの七種、十九器あります。

最初は音が出なくて困りましたが、毎日練習をしているうちに少しずつ音が出るようになりました。

わたしは、トロンボーンを吹いています。音程をつかむのが難しく、なかなか思うようにはいきません。口びるやばはが痛くなることもあります。

今は、秋の音楽交歓会に向けて

わたしたちの 学校自慢

④1

下条小学校

〔水上清光 校長〕
児童数：267人

児童会

七夕集会



山田一也 くん
(6年)



音楽交歓会に向け、練習に励んでいます

みんなが練習にはげんでいます。つらいこと、苦しいことがあります。が、あきらめないうで最後までがんばりたいと思っています。

ほかたちの児童会は、季節ごと



眠気を吹き飛ばし、週2回マラソンで健康づくりに励む鑑島っ子

みんないきいき。 サークル交流録 PART 17

鑑島早朝マラソンクラブ

(代表 保坂常雄)

マラソンで親子の触れ合いを目指す

早朝6時、「おはよう」の元気なあいさつで始まるマラソンクラブ。親が子供と一緒に、何かできることはないだろうかとマラソンを思いつき、昭和56年に始めて11年が過ぎました。新座のマラソンクラブを参考に、天気の良い毎朝やっていたが、だんだん参加者が少なくなり、今年から火曜日と金曜日の2回にしたところ、いつも50～60人の親子が集まるようになりました。

ラジオ体操第1と第2で準備運動をやって、鑑島小学校グラウンドを発着点に2.5*を走ります。コースは鉢の入口までと吉田地区公民館までの2コース。沿道の励ましの声に元気づけられながら、親子ともども頑張っています。ちょっと悪玉になりそうな子、ルール違反の子も出てきますが、一緒に汗をかきながら話すと素直にわかってくれます。大人が二日酔いや用事で休むと、次のときに子供たちから反対に注意されます。子供と大人の触れ合いの場、頑張る子供たちに親が引っぱられているところが大です。そして子供たちの最大の楽しみは7月の親子お楽しみ会、焼き肉と花火で親睦と英気を養います。

小さいうちから眠いのをがまんして頑張る姿勢は、中・高校生になってから生きてきます。巣立った子供たちが活躍している姿を見聞するたびに、クラブをやった良かったと思います。



2.5*の距離を和気あいあいと走ります

このコーナーは、運動や文化、芸能などを楽しんでいるサークル、クラブなどを紹介するコーナーです。このコーナーで自分たちの頑張っている姿をアピールしてみませんか。

総務課文書広報係
(☎57-3111 内線214)



ドライバーにチラシを配る「花華ドリーム」のメンバー

花華ドリーム・

1日交通巡視員作戦

～夏の交通事故防止を呼びかける～

八月六日(木)、夏の強い日射しの中、セントリークロス付近で「花華ドリーム・一日交通巡視員作戦」が展開されました。これは、(財)十日町地区交通安全協会、十日町警察署、十日町市が夏の交通事故防止運動の一環として行ったもの。日頃、自分達のまちを「花いっぱいにして」「住みよいまちづくりをしよう」と、各職場などで活躍中の若い女性グループ「花華ドリーム」の十五人は、エーゲブルの制服をまとった「一日交通巡視員」に変身。交通安全クリーンバックやチラシを配りながら、「飲酒運転追放」「暴走運転追放」などをドライバーや歩行者に呼びかけていました。

に集会をしています。ついこの前したのは七夕集会です。一人ひとりの願いごと、学級の願いごと、それに全校の願いごとを書きました。多くのアイデアでくす玉を作ろうということになり、全校の願い事「みんなで努力してすばらしい学校がつくれますように」を体育館の上の方にとり付けました。練習ではなかなかうまくいきませんが、本番では成功し、くす玉がとともきれいに開きました。また、他の委員会に手伝ってもらい、特大バズルを作りました。絵はおりひめとひこ星です。大変



全校の願いがかなうよう祈ります



関 正志さん

(新潟大学 1 年生
学校町 2・18 歳)

父 親の勤務先の関係で、県内を転々とし、十日町へは高校の時に来ました。スキーが好きなので、スキー場に近い十日町に来ることができてよかったと思います。この夏のアルバイト代でスキーセットのグレードアップを図り、スキーシーズンの到来に備えたいと思います。

大 学のそばのアパートで自炊を楽しんでいます。音楽のサークルに所属し、キーボードをやっと弾けるようになりました。夏休みにギターのコードを覚えたいと思い、少しずつ練習をしています。自分の指ではじく弦の音で、人を感動させることができれば最高です。

専 門は、情報システム工学。自分で作ったコンピュータ言語でシステムを構築し、色々な事に役立てることができたらと考えています。就職はまだ先。専門の知識を生かせる職場であればいいのではないかと考えています。

青春エンジョイ

出口 明日香さん

(城之古 3・20 歳
付属看護学校 2 年
国立療養所東京病院)

病 気になって落ちこんでいる人を勇気づけてやることができたらと、看護婦になることを思いました。東京の看護学校に入学して今年で 2 年目。夏休み明けから本格的に看護実習をやることになり、今から不安と期待で胸がいっぱいなんです。

入 学の時は、資格が取れたら十日町にすぐ Uターンして働きたいと思っていました。今は、いつかは戻って来たいと考えていますが、しばらくは自分一人でもどこまでやれるか頑張ってみようかなあと思っています。

高 校の時までは、バス停や駅まで遠いのはあたり前だと思っていました。交通の便のよい都会で暮らしてみると不便を感じます。でも、十日町の人には気が優しく好きなんです。この前も友人とバスに乗ったら、バスの運転手さんが、「どこまで行くの」「はい、着きましたよ」と気軽に話しかけてくれて、ほのぼのとした気分になりました。

明日の十日町を担う若者登場コーナーです。このコーナーに登場する人を募集しています。個人・会社の推せんでもかまいません。

連絡先 総務課文書広報係

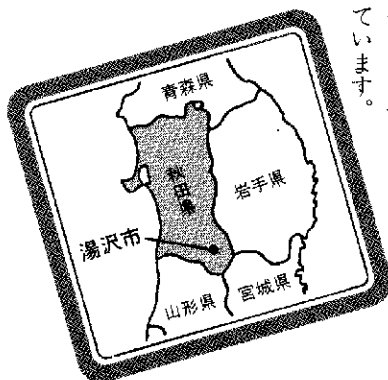
思いのふるさと
No.29村山 富士子 さん
(水口・50 歳)

出身地 秋田県湯沢市

わたしのふるさと湯沢市は、秋田県の内陸部の南端に位置する自然に恵まれた美しいまちです。特に山々が連なり、四季折々に美しい姿をかえる奥羽山脈はとても魅力的です。

この地方は果樹の栽培がさかん、リンゴ・ブドウ・サクランボなどが多く収穫され、フルーツ村として知られています。また、秋から初冬にかけて清流を利用して育てたセリの出荷も行われます。屋根の雪下ろしは、雪の多い年で二回ほど、寒さはとても厳しく、川や池が凍りスケートができたり氷を切り取って魚釣りも楽しめれます。

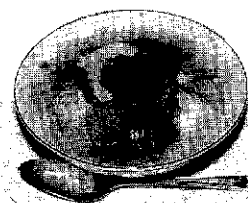
小学校の頃の思い出は、全校でナベツ子遠足といって春は竹の子、秋はサトイモ汁の材料を背負って学校林の手入れをしたあと友達と食べた味は、今でも忘れられません。



十日町に嫁いで三十年近くになりました。最初は見知らぬ土地での生活に不安はありましたが、地域の人の心の温かさに支えられて、今では安心して親しくお付き合いをさせていただいています。

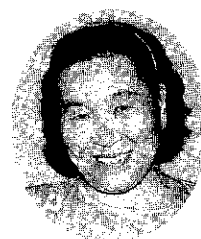
十日町にもおいしい食物は多くありますが、湯沢にもギリタンポ・しょつつるなべ・鯉の甘煮など郷土色豊かな料理がいっぱいあり、お客様へのおもてなしとして大変喜ばれています。時々ふるさとへ帰って食べる味は何んといっても一番です。

わが家味 65



〈材料〉(8人分)

なす…大3、トマト(よく熟しているもの)…大2、じゃがいも…大3、玉ねぎ…大1、いんげん豆…10本、豚肉…300g、塩・コショウ…各適量
※豚肉の代わりに缶詰のさば水煮でもおいしいです。



村山 和子さん
(新座 2・61歳)
(☎ 57-2588)

夏野菜のスープ

父がよく作ってくれたスープで、子供のころから大好きでした。野菜のうま味を生かして塩は少なめに。暑くて食欲のないとき特に喜ばれ、これを作ると「夏」という気がします。
なす、トマト、じゃがいもに、

夏の有り合わせの野菜をたっぷり加えて一度いかがですか。
〈作り方〉①なす、トマト、玉ねぎは大きめのざく切り、じゃがいもも大きめに四つか六つに切る。
②切ったトマトを両手に入れて合わせ、余分な種を出すように振る。
③豚肉は食べやすい大きさに切る。
④いんげんは三つくらいに切る。
⑤いんげんを除いた材料を大きめのなべに入れ、水を多めに(野菜がたつぷりかぶるくらい)入れる。
⑥煮立ったら弱火にし、じゃがいもが煮えたら塩、コショウを入れて火を止め、色どりに軽く塩ゆでしたいいんげんを加える。



大きなあ〜れ 92

(2歳
8カ月)

ただあき
橋本賢晃ちゃん
政義・まついさん長男
(新水)

弟の賢太(1才)と、毎日仲良く遊んでいるよ。ワンパク盛りで、おばあちゃんは大変みたい。でも、お田さんが帰ってくると、おんぶやだっこをおねだりする甘えんぼうになるんだ。

じょうずに描けたネ!

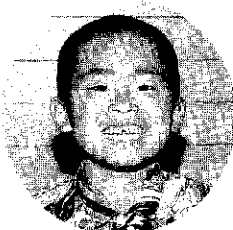
白梅保育園 92



お泊り会で、かみきり虫の映画を見たんだ。みんなで作った夕ごはんは、とってもおいしかったよ。



お泊り会で私がプレゼントをもらっているところなの。おばけ屋敷もやっただけどこわくなかったわ。



堀口 一也くん
(5歳)



高橋 弥希ちゃん
(6歳)

昔はどこのうちも朝早くから、みんな一緒に田んぼや畑で働き、土仕事の毎日だったの。
半道もある野中小学校までは道幅がいくらもなく、ごうぎ曲がりくねっていて、冬なんか危なくて大人が先になつて雪をこき、朝晩送り迎えしたんそ、今じゃ考えらんねの。おらの同級生は二十七人で、どの学年も同じくらいの人数だったども、今は全校で二十七人だとの。少なくなったこつぽ。
学校から帰ると家じゃ手伝いが主で、遊んだことはあんまり覚えていない。
父親が五十五歳、母親は七十の



佐藤 榮益さん
(漆島・81歳)

この昔と今

声がかかるころ亡くなってしまつて、もうちつと長生きさせたかったとこのごろ特に思うの。
昭和五十八年まで四十年も休まず蚕を飼つていて、毎日がほんとうに忙しかったの。冬はわら仕事で自家用のもん作つていたども、今はわらなんか用事がなくなつてしまったの。
楽しみというと、町の七日祭りに朝から歩くのも苦にしねで出かけたなり、今はやめたども、お庚申様をもつたりしたことかの。
今は野中を中心とした長井クラブで、総会るとき塩ノ又の湯に行つてみんなと顔を合わせたり、テレビの時代劇や相撲を見るのを楽しみにしていらんそ。
ここで生まれて、ここで育つてほかの土地へは行つてみなかったども、離れてみる気はしねの。今でも田んぼの水を見たり、あぜなぎをしてたども、先月けがをしてから静かにしてらんそ。体がしつかりしたら、ばあさんと一緒にもうちつと頑張つてみるで。

参議院新潟県選出議員選挙結果

—— 7月26日投票県選管確定 ——

- (当) 真島一男 (59・自民②) **496,251票 (12,205)**
 (当) 大淵絹子 (47・社会②) **376,580票 (8,590)**
 村田一男 (48・共産) **72,541票 (1,556)**
 北村寿孝 (44・中小) **44,017票 (701)**

() 内は十日町市開票区の得票

十日町市開票区選挙結果

- 有権者数 34,722人 ■投票者数 23,901人
 ■棄権者数 10,821人 ■投票率 68.84%
 ■無効投票 848票

参議院比例代表選出議員選挙結果

届出番号	政 党 名	得 票 数 (十日町市開票区)
1	発 明 政 治	50
2	国 民 新 党	46
3	日 本 国 民 政 治 連 合	52
4	進 歩 自 由 連 合	9
5	教 育 党	21
6	公 明 党	1,656
7	国 際 政 治 連 合	3
8	「開 星 論」の U F O 党	25
9	全 日 本 ド ラ イ バ ー ス ク ラ ブ	61
10	老 人 福 祉 党	241
11	モ 一 タ 一 新 党	131
12	社 会 民 主 連 合	122
13	日 本 共 産 党	1,093
14	希 二 院 ク ラ	42
15	第 二 院 ク ラ	318
16	新 自 由 党	54
17	世 界 浄 霊 会	4
18	風 本 新 党	80
19	日 本 新 党	810
20	日 本 社 会 党	5,707
21	年 本 社 会 党	132
22	日 本 金 愛 党	19
23	大 日 本 誠 流 社	2
24	ス ポ 一 ツ 平 和 党	577
25	中 小 企 業 生 活 党	76
26	自 由 民 主 党	10,058
27	民 国 社 民 党	1,186
28	国 文 化 フ ォ ー ラ ム 党	30
29	地 球 維 新 党	15
30	フ リ ー ワ ー ク ユ ニ オ ン	1
31	政 事 公 団 太 平 会	6
32	日 本 世 直 し 党	1
33	平 成 改 新 党	13
34	環 境 民 党	18
35	平 民 党	21
36	雑 民 党	24
37	表 現 の 自 由 党	8
38		7

- 有権者数 34,722人 ■投票者数 23,898人
 ■棄権者数 10,824人 ■投票率 68.83%
 ■無効投票 1,178票

予約募集中

県民手帳 (一九九三年版)

〜 持っている、きつと役立つ 〜

県民手帳の予約を受け付けます。
表紙は、ダークブラウンとワインの二色があります。

- 価 格 三八〇円
- 発行時期 十一月中旬
- 申込期限 九月五日(出まで)
- 申し込み 総務課文書広報係 (☎内線213)へ。

電子レンジ 押し花教室

- とき 8月21日(金)午後1時
- ところ 東北電力㈱十日町営業

市民プール

☎52-4539

〈閉場時間の変更〉
8月13日(木)から閉
場時間が午後7時か
ら午後6時に変わ
ります。

- 対象 親と子(小学生)のペ
アで参加してください。
- 内 容 電子レンジを使って押
し花を作り、できた押し花で手
づくりのしおり、ハガキを完成
させます。
- 参加費 親子1組1,000円
- 定 員 親子15組
- 申し込み 8月18日(火)までに、
東北電力㈱十日町営業所お客さ
まサービス課(☎52-3107)へ。

精神薄弱者更生施設

「やいろの里」職員募集

小出町に建設中の精神薄弱者更
生施設「やいろの里」が来年四月
に開設されます。これに伴い次の
とおり職員を募集します。

- 職種・採用人員
- ①生活指導員・作業指導員：そ
れぞれ男女共3名程度
- ②介助員：女子1名
- ③看護婦：1名
- ④栄養士：1名
- ⑤事務員：1名
- ⑥用務員：1名
- 試験 9月27日(日)、小出郷福
祉センター
- 申し込み 9月14日(月)までに(魚
沼地域福祉社会事務局)(小出町)

無料法律相談

弁護士による法律相談を行いま
す。法律関係の問題でお悩みの方
は、お気軽にご相談ください。

- とき 8月20日(木)午後1時30
分〜4時(1人30分間：5人程
度)
- ところ 市役所市民相談室
- 相談員 小林彰弁護士
- 申し込み 電話で市民課(☎内
線143)へ予約してください。多
数の場合は先着順となります。

博物館無料公開

8月23日(日) 午前9時〜午後5時…郷土探険日
(夏休み特別企画)

昔にふれてみよう!

博物館は
みんなの知的遊園地

博物館では、8月23日を終日無料公開いたします。重文縮
収蔵庫や仕事場も公開し、また、いろいろな質問にもお答えしま
す。夏休みの一日家族や友達と博物館に出かけてみませんか。

■内 容 ①物産ホール・地酒セット、漬物詰合せ等②エントランスホール特設売場・地酒、ワイン試飲販売
等③クラフトホール特別催事(ミニ緑日PartⅡ・自然とのふれあい)・本町・ヨー、沢ガニ、カブトムシ④第3
回持遊さの市一振袖一式、帯、袴着せ。■ふるさとのお土産が満載のお楽しみ抽選会があります。

麻しん(はしか)の予防接種

麻しん(はしか)の予防接種を医師会の協力を得て、市内の医療機関で個別に接種します。接種を受ける方は、申し込みが必要です。

■接種対象者 昭和61年11月1日～平成3年4月1日に生まれた幼児。ただし、すでにはしかにかかったことのある子や麻しん、MMRの予防接種を受けたことのある子は除きます。

■受けられない子 1年以内にけいれんを起こしたことのある子など。慢性の病気がある子は、かかりつけの先生に相談ください。

■受付期間 8月19日(水)～9月2日(水)の午前8時30分～午後5時(土・日曜日を除く)

■申し込み 母子健康手帳と印鑑を持参し、保健衛生課(☎内線138)で手続きをしてください。電話での受け付けはしません。

心の健康相談

■とき 8月25日(火)午後1時30分～3時

■ところ 十日町保健所

■担当 江口医師(上村病院)
■申し込み 十日町保健所(☎57-2400)または、保健衛生課保健衛生係へ。

酒害の懇談会

■とき 8月28日(金)午後1時30分～3時

■ところ 十日町保健所

■申し込み 十日町保健所または保健衛生課保健衛生係へ予約ください。

家族介護者教室

一般公開講座

■とき 8月29日(土)午後2時～3時30分

■ところ 三好園

■内容 講座「痴呆性老人との上手なお付き合い」講師・須賀良一氏(中条病院精神科医長)
■参加費 無料
■問い合わせ 三好園デイ・サービスセンター(☎56-2106)

県少年の主張

十日町中魚沼地区大会

■とき 8月21日(金)午後1時30分～4時30分

■ところ 十日町市市民会館

■内容 ①中学校代表10人による主張発表②南中学校吹奏楽部による演奏
■入場 無料

■問い合わせ 中魚沼社会福祉事務所(☎55-5517)へ。

軽油免税証の交付

収穫・秋耕用

■交付日 8月27日(木)～28日(金)

■交付場所 十日町総合庁舎第二会議室

■必要書類 ①免税証交付申請書

②免税軽油使用者証③耕作面積証明書(農業委員会等で証明)④

印鑑(共同使用の場合は全員の印鑑)⑤新規の機械や変更がある場合は、使用機械の証明書または納品書等の写し

■その他 ①道路運送法第四条の規定による登録を受けている機械は対象になりません。②大口生産組合は即日交付はできません。

■問い合わせ 十日町財務事務所(☎57-5512)へ。

8月 交通安全キャンペーン

飲酒運転は絶対にしない

飲酒運転による重大事故が多発しています。お盆、お祭り等で飲酒の機会が多くありますが、絶対に飲酒運転はしないでください。



7月中の交通事故発生状況 ()は累計

市 町 村	発生件数	負傷者数	死者数
十日町市	平成4年 24(99)	30(113)	0(1)
	平成3年 14(90)	16(97)	0(1)
川西町	平成4年 6(52)	6(62)	0(0)
津南町	平成3年 8(58)	10(71)	0(1)
計	平成4年 30(151)	36(175)	0(1)
	平成3年 22(148)	26(168)	0(2)

暴走運転で対向車線をオーバーし衝突事故

7月24日(金)午後9時30分ごろ、西本町地内の市道上で、18歳男性運転の普通乗用車が高速暴走。緩いカーブを曲がり切れずにスリップしながら対向車線にはみ出し、軽四輪ワゴンに衝突。車は大破、3人が負傷しました。

とおかまちの自然

(理科センター)

ムシトリナデシコ 69



ヨーロッパ原産の帰化植物で、江戸時代末期に渡来したと言われています。最初は鑑賞用に栽培されていたものが、野性化したものです。

茎は高さ20～50cmで、上部は枝分かれし、一部に1cmほどの長さで褐色の粘液を出す部分があります。この部分にアリなどの小動物がくっついて動けなくなることから、この名が付けられました。

葉には柄が無く、茎を抱いて2枚ずつが向かい合って付きます。枝の先に紅色の小さな花が多数集まって咲きます。

まつり前夜祭

8月25日(火) 明石万灯…午後7時～9時
民謡流し…午後8時～9時20分
仮装大会…午後7時～9時20分

■申し込み 8月15日(土)までに、申込書を下記に提出してください。

参加者募集

明石万灯……十日町商工会議所(☎57-5111)
民謡流し……十日町市観光協会(☎57-3345)
仮装大会

※民謡流し参加団体の打合会は18日(火)午後7時から市保健センター2階で行います。

十日町市下条地内の墓地で、久しぶりにヨシで作った鳥居状の墓飾りをみかけた。以前はどこでもよくみられたお盆の光景である。

八月十五日を中心とする前後一連の行事が「盆」。それにしても盆という言葉は、どこからでてきたのだろう。これには二説が聞かれる。

弟子の目蓮が、餓鬼におちた亡母の倒懸（さかさ吊り）の苦を救うため、師の釈迦に教えを請うたところ、（旧暦）七月十五日に百味の飲食で衆僧を供養すれば七世父母、現世父母の苦難が救えるとのこと。倒懸を梵語でウランバーナ、音訳で孟蘭盆（うらばん）。その略語が盆で、行事名もそこから出たとする説。

毎年、この季節（夏越の後）に、祖霊が訪ねてくるというわが国固有の信仰がある。このとき供える供物の容器がボニ・ボン盆、やがてこの供器で祭られるもの自体を盆というようになったという説。

そのいずれによるのかはともかくとして、昔から行われてきた十日町の盆行事をみていくと、祖先の信仰生活の素朴な源流がなんとなくかがえてくる。

鳥居状の墓飾り、十三日早朝の川での沐浴や髪洗い、仏壇とは別の盆棚、供物には欠かせぬ鏡イゴや柳箸、門先の迎え火やホーズキ提灯での精霊迎えなどがそれである。

思うに仏教式の孟蘭盆会と日本固有の精霊信仰が習合して、今日みられるようなお盆習俗となったにちがいない。

長野県的美ヶ原高原では、今世界有数の彫刻展「第四回ロタン大賞展」が開催されています。

三十八カ国、三三五点の応募の中から、審査員の絶賛を得て、前回の入賞に引き続いて「彫刻の森美術館賞」を受賞した、水沢中学校教諭藤巻さんの作品「家路へ」を含め、厳選された二十点の彫刻が、高原のキャンパスを彩っています。

藤巻さんの今回の受賞作品は、高さ三層の一枚の葉の上で、妖精（幼子）がぶらんこに乗って舞う、というメルヘンの世界を表現した、やさしさと夢が伝わってくる作品です。

悲願を達成しての受賞だけに「授賞式で、初めて自分の名



盆の墓飾り（池ノ尻）

美ヶ原のロタン大賞展で 彫刻の森美術館賞に輝く



藤巻秀正さん
（島・54歳）

前がアナウンスされたときは震えが走った」と、「日本の藤巻」の評価に感激する一方で、「教師だからこそできた作品。生徒がいたから」と話す表情は、作風を写したような先生の温かい人柄を感じさせます。

その先生が、自宅のアトリエで彫刻家の顔に変わるのには、仕事を終えての夜。「限られた時間の中で、いかに精神力と体力を切らさずにいくかむずかしい」と苦笑しながらも「全体体でぶつかり、それが直接はね返ってくる彫刻の魅力はかえがたい」という藤巻さん。「いずれは、作家仲間とまちを象徴するような共同作品を製作したい」と夢をふくらませています。

先日、市の施設見学会の参加者と大井田城跡に登りました。山道を登ると息が切れ、この場所が天然の要害の地であったことを身をもって体験しました。

編集後記

眼前に広がる青々とした田原を見ながら、今年の作柄はどうかな、この地を治めていた大井田父子も同じことを考えていたかもしれない、ふと思ひ、気分は城主。

子供ができたら親子で又来ようと決意を新たにした独身の男です。

今月の表紙

市内の観光名所の一つ、二ツ屋の弁天池で連まつりが行われ、淡紅色の蓮の花が訪れる人の目を楽しませてくれました。八月二日(日)には、二千年蓮が咲き乱れる中「茶会」が催され、おおせいのカメラマンや観光客は、池を渡る早朝のすがすがしい風に身を包まれながら、二千年のロマンに思いをはせていました。

市の動き

（7月末日現在）

■人	□	46,105人	（前月比+24）
	男	22,714人	（〃 +8）
	女	23,391人	（〃 +16）
■世帯数		12,609	（〃 ±0）